

広島大学文学部人文学科
ゼミナール選考 総合問題

開設分野	倫理学
------	-----

平成25年8月31日(土)

自 13時00分

至 14時30分

答案作成上の注意

1. この総合問題紙は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
2. この総合問題紙の枚数等は下記のとおりです。

解答開始の指示後、直ちに下記の枚数を確認してください。

問題枚数 (この表紙を含む)	3枚	解答用紙	2枚
		下書き用紙	1枚

3. 受験番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
5. 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
6. 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
7. 配付した総合問題紙及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
8. 総合問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

ゼミナール選考 総合問題

開設分野	倫理学
------	-----

I 次の英文を読んで後の問いに答えよ。

Why cannot we discover a body of ①general moral truths that would help us to solve particular moral problems in the way that geometrical truths help the surveyor and mechanical truths help the engineer to solve their practical problems? Some philosophers have thought it possible to discover such truths. Plato, for example, seemed to think that, although it would be very difficult and no one had yet done it, it might be possible for a man to come to know ②The Form of the Good; and this would give him an insight into moral rules not unlike the insight of the geometer into geometrical axioms. Like Plato, Hobbes was much impressed by the method of geometry and he thought that moral rules were Rules found out by Reason for avoiding social calamity; and Spinoza frankly casts his ethics into a deductive, geometrical form.

But the analogy with mathematics or with any of the natural sciences will not do. I shall try later to explain (ア) detail why it will not do; here it must suffice to notice that the conditions which make ③the deductive method so fruitful in the sciences do not all obtain in the field of conduct. The success of the sciences is in part due to the possibility of discovering functional relations between measurable quantities and in part due to the possibility of giving precise meanings to the words employed. ④The classical Utilitarian theory was an attempt to produce a sort of mechanics of behaviour; and it failed just because these necessary conditions do not obtain. Even if we neglect the fact that ethics raises questions about ends and take the duty to produce the maximum pleasure all round us as a datum, it is impossible to measure amounts of pleasure in the way that we can measure amounts of heat or energy; and the duty to produce the maximum of pleasure all round can certainly not be accepted as a datum unless 'pleasure' is construed so vaguely as to be useless.

(P. H. Nowell-Smith, *Ethics*)

(注)

Plato: プラトン Hobbes: ホッブズ Spinoza: スピノザ Reason: 理性
will not do: will be unsuitable or unacceptable
the deductive method: 演繹法
The classical Utilitarian theory: 古典的功利主義論 obtain: be in use

- 問1 下線部①について、プラトン、ホッブズ、スピノザがそれぞれどのように考えたかを、本文に即して説明せよ。
問2 下線部②は、一般にどのように呼ばれるか。その用語を答えよ。
問3 (ア)に入る前置詞を答えよ。
問4 下線部③の方法を説明せよ。
問5 下線部④を和訳せよ。

ゼミナール選考 総合問題

開設分野

倫理学

Ⅱ 次の文章は三木清の『哲学入門』からの抜粋である。読んで後の問いに答えよ。

第三に科学は価値の問題について中立的である。それはただ記述し或ひは説明することに努め、価値判断はそれの外にある。それは感情的な主観的な評価を排して、物を飽くまでも知的に客観的に把握しようとする。科学は単に記述するのみで説明するものでないといふのは、言ひ過ぎであるにしても、それは決して目的の言葉において説明するものではない。「何故に」といふことが、もし物の意味乃至目的を問ふことであるとすれば、科学は「何故に」といふことに答へるものでなく、単に「如何に」といふことを明かにするのである。科学の示す新しい事実、新しい観念、環境支配の新しい可能性をもつて何を始めるかは、それを有する人間の意欲に依存し、そしてこれは彼のもつてある価値の尺度に依存する。行為の目的に対して科学は手段或ひは道具を提供するに過ぎぬ。しかるに哲学はまさに価値とその秩序に関はつてある。哲学の問題は価値の問題であるといはれるのである。しかしながら、科学も価値に無関心であるのではなからう。それは何よりも真理に深く関心してある。真理は価値であり、従つて知識もそれ自身のうちに価値の問題を含んである。また価値の秩序を如何に考へるかといふことは、知識に依存するところが多いのである。理論と実践、観念と行動を全く分離することはできぬ。科学が価値判断を排するのは主観的なものの混入を防ぐためであるが、哲学もまた、価値を問題にするにしても、単に主観的であることは許されない。もちろん、純粹に客観的な立場においては評価はなく、物の意味も理解されないであらう。けれども意味とか目的とか価値とかも、単に主観的なものであり得ず、そしてそれが現象のうちに客観的に現はれる限り、価値も科学の対象となるのである。道徳学、芸術学、宗教学等の存在はそのことを示してある。従つて哲学が価値を問題にするといふ場合、その取扱ひは科学におけるそれとは異り、しかも価値そのものの本質が哲学的な見方を要求してをり、更にこれが単に主観的な見方でないといふことがなければならぬ。そしてその点の認識が哲学にとつて重要なのである。

(旧字体を新字体に改めている)

- 問1 筆者は、「価値」の取扱いに関して、科学と哲学がどのように異なると考えているか。170字程度で説明せよ。
- 問2 倫理学を学ぶ意義について、講義内容も参考にしながら、600字以内で意見を述べよ。